

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024年 6月3日

青森県知事 宮下 宗一郎 殿

提出者

住 所 青森県五所川原市漆川字鍋懸156番地

氏 名 富士電機津軽セミコンダクタ株式会社

代表取締役社長 一戸 裕康

電話番号 0173-35-5671

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	富士電機津軽セミコンダクタ株式会社
事業場の所在地	青森県五所川原市漆川字鍋懸156番地
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	集積回路製造業(日本産業分類コード:2814)
② 事業の規模	2023年度出荷額 217億円
③ 従業員数	357名 (有期従業員を含む)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	製造プロセスから発生する特別管理産業廃棄物を産業廃棄物処理業者の処理施設で中間処理している。 別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<div>(管理体制図)</div> <div>別紙2参照</div>		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（2023年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3 表1参照
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) イソプロピルアルコール廃液をインク原料として売却(再利用)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3 表1参照
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) ①産業廃棄物の発生が抑制される製造方法の検討を継続する。 ②構築した環境マネジメントシステムの運用により産業廃棄物の排出量削減、再資源化等を推進する。	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 関連する法令を遵守するとともに、その他会社規則を制定し産業廃棄物を分別している。	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通り	

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	別紙3 表2 参照 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	別紙3 表2 参照 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特に無し		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	別紙3 表3 参照 t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	別紙3 表3 参照 t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特に無し			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙3 表4参照 t	t
	(これまでに実施した取組) 原則として特別管理産業廃棄物を直接最終処分しない。 (中間処理実施を検討する。) 		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙3 表4参照 t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3 表5参照 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ①製造工程で使用する薬液（イソプロピルアルコール等）使用量低減対策を実施した。 ②生産数を考慮した装置メンテナンスを実施し汚泥廃棄物の排出低減を図った。		

(第5面)

②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類				
	全 処 理 委 託 量	t	t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙3 表5 参照 t	t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	(今後実施する予定の取組) 環境マネジメントシステムで産業廃棄物全体の排出量削減を目標 設定し取組んでいく。 また、既の実施している下記項目を継続して実施していく。 ①製造工程で使用する薬液（イソプロピルアルコール等）使用量 低減対策を実施していく。 ②生産数を考慮した装置メンテナンスを実施し汚泥廃棄物の排出低減を 図っていく。				
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（2023 年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	76.299t			
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組) 以前より完全電子マニフェスト化しており、今年度の取り組み予定と しては特に無し				

(第6面)

備考

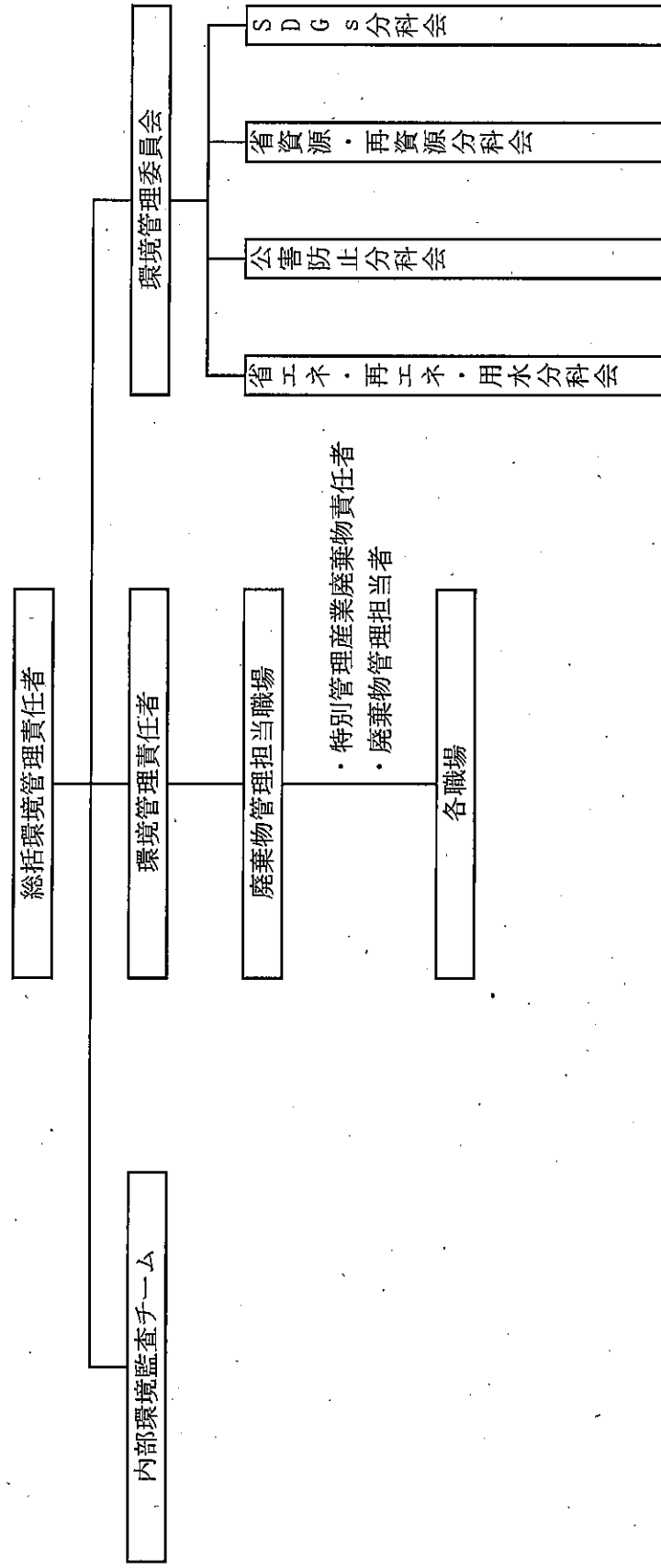
- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

【別紙1】

特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

発生源	廃棄物	処理	処分
イオン注入工程	汚泥	焼却	最終処分
現像工程	廃油	焼却	最終処分
塗布工程	廃油	焼却	最終処分
めっき工程	廃酸・廃アルカリ めっき液	中和	最終処分

【別紙2】



【別紙3】

表1

①現状	【前年度(2023年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	排出量(t)	71.079	5.22	0
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	排出量(t)	80	7	0.3

表2

①現状	【前年度(2023年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量(t)	0	0	0
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量(t)	0	0	0

表3

①現状	【前年度(2023年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量(t)	0	0	0
	自ら中間処理により 減量した特別管理産業 廃棄物の量(t)	0	0	0
	【目標】			
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量(t)	0	0	0
	自ら中間処理により 減量した特別管理産業 廃棄物の量(t)	0	0	0
	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀

表4

①現状	【前年度(2023年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	自ら埋立処分を行った特別 管理産業廃棄物の量(t)	0	0	0
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	自ら埋立処分を行った特別 管理産業廃棄物の量(t)	0	0	0

表5

①現状	【前年度(2023年度)実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	全処理委託量(t)	71.079	5.22	0
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	30.181	0	0
	再生利用業者への 処理委託量(t)	0	0	0
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0
	認定熱回収業者者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃水銀
	全処理委託量(t)	80	7	0.3
	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	35	1	0.3
	再生利用業者への 処理委託量(t)	0	0	0
	認定熱回収業者への 処理委託量(t)	0	0	0
	認定熱回収業者者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量(t)	0	0	0

